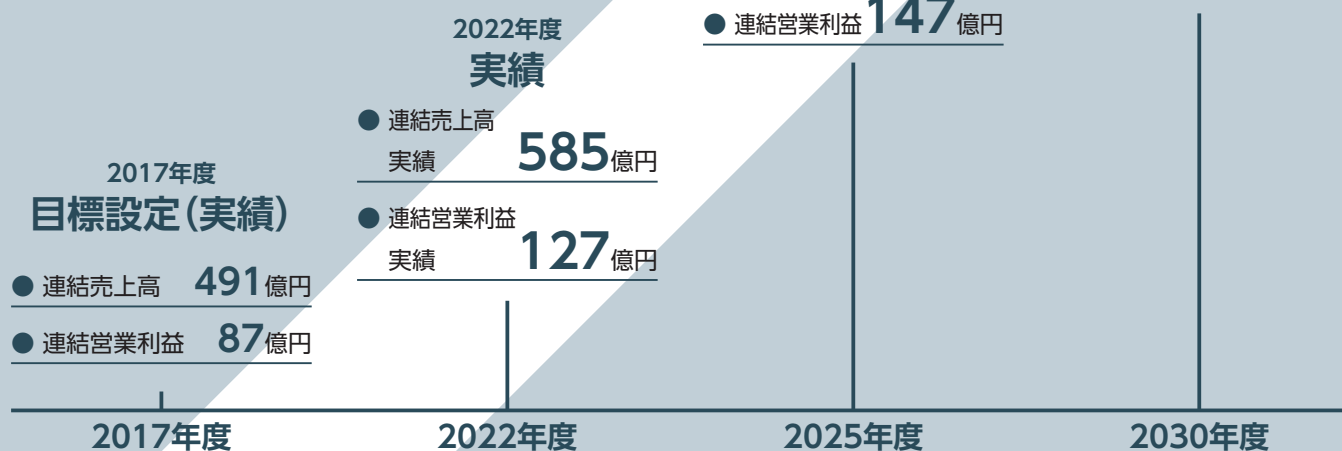


長期経営ビジョン「VISION2030」と 長期経営計画の進捗状況

ダイセキグループでは海外メジャーと競り合える規模と内容を備えるために、2018年度に策定した長期経営ビジョン「VISION2030」に取り組んでいます。

長期経営ビジョン 「VISION2030」

「VISION2030」に基づき、3倍の売上高、
3倍の営業利益を達成し、業界の太陽(SUN)を目指す
「33(サンサン)プロジェクト」を推進しています。



ダイセキグループの基本戦略

国内エリア戦略

- 既存事業所間連携による希薄なエリアの濃密化
- 新規事業拠点開発により新規エリアへの進出

海外エリア戦略

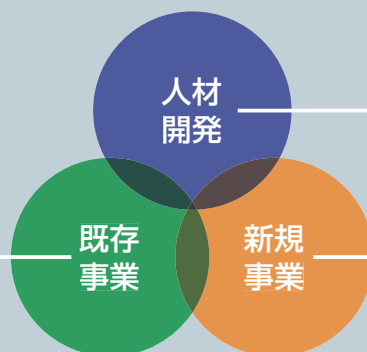
- アジア市場への進出を念頭に市場調査を開始

技術・設備開発

- リサイクル率の上昇
- 新規技術・設備導入による取扱品目の拡大

グループ戦略

- 人材交流を含めた連携強化によるシナジーの拡大



職場環境

- 働きがいも成長も望める職場環境
- ジェンダーフリーな職場環境

人材育成

- グループ企業間の人材交流の活発化
- 教育制度の拡充
- 新規プロジェクト社内公募制の実施

M&A戦略

- 「環境」「リサイクル」をキーワードとするM&A

アライアンス戦略

- 異業種も含めたアライアンスの推進

2022年度の進捗状況

① 3つの新規事業拠点の開設

● 広島事業所

2021年8月 土地取得 20,454m²
2023年1月 工場建設着工
2024年3月 稼働予定

● 他2拠点についても適地調査中

② 3つの主力事業の確立

● サーキュラーエコノミーの推進

● 工場以外の顧客も対象とする事業の開発

2022年12月 蒲郡市との連携協定締結

● 取扱品目拡大による

環境創造企業への成長

工場廃液(ダイセキ)、土壌(ダイセキ環境ソリューション)、金属(ダイセキMCR)に加えて、取扱品目拡大を検討中(2023年3月31日開示、ダイセキ環境ソリューションのM&A案件等)

● 2022年にパーパス「限られた資源を活かして使う『環境を通じ社会に貢献する環境創造企業』」を発表

③ コア事業国内シェア30%

● 関西事業所 播磨リサイクルセンター

2019年9月 土地取得 63,432m²
2023年1月 第1期工場稼働開始

● 2023年2月末 ダイセキの国内シェア25.2%

(取引有5,663工場/国内従業員100名以上の製造業工場22,491)

今後に向けた「VISION2030」の計画

2017年度の3倍の売上高・3倍の営業利益、業界の太陽(SUN)を目指す

目標とする経営指標とバリュードライバー

経営指標	<ul style="list-style-type: none"> ● 連結売上高1,500億円、連結営業利益250億円を達成 ● 連結ROE10%以上を維持しながら、2030年度までに15%以上に向上 ● 増配、また必要に応じて自己株式取得により配当性向を徐々に引き上げる 		
バリュードライバー	<h4>売上高成長</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 東日本、西日本のシェアアップ ● 周辺事業の拡大(子会社、M&A) 	<h4>収益性向上</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル技術の向上 ● 変動費・固定費の管理によるコスト削減 	<h4>効率性向上</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● オペレーションの向上 ● 設備投資、M&A、株主還元(増配・自己株取得等)による資本効率の向上

2023年度の計画

- サーキュラーエコノミーを軸とする新しいビジネスの開拓
- 工場以外の潜在顧客の掘り下げによる新たな市場開拓
- 大学と連携した新技術や新ビジネスの開発
- ダイセキグループとのシナジー効果の高い企業のM&A
- ダイセキグループ内の連携強化による収益増